Sony Financial Holdings

平成25年３月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年８月13日

上場会社名　　ソニーフィナンシャルホールディングス株式会社　　上場取引所　東
コード番号　8729　　ＵＲＬ　http://www.sonyfh.co.jp/
代表者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）井原　勝美
問合せ先責任者　（役職名）広報・ＩＲ部長　（氏名）此尾　昌晃　　ＴＥＬ　03-5785-1074

四半期報告書提出予定日　平成24年８月13日　配当支払開始予定日　－
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無　：有　（国内機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

１．平成25年３月期第１四半期の連結業績（平成24年４月１日～平成24年６月30日）

（１）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	経常収益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年３月期第１四半期	277,239	8.0	15,424	△20.3	9,613	△11.7
24年３月期第１四半期	256,810	6.8	19,351	△1.1	10,883	4.9

（注）包括利益 25年３月期第１四半期　17,714百万円（△24.4%）24年３月期第１四半期　23,423百万円（16.3%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 １株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年３月期第１四半期	22.10	－
24年３月期第１四半期	25.02	－

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年３月期第１四半期	7,365,051	356,815	4.8
24年３月期	7,241,414	347,800	4.8

（参考）自己資本　25年３月期第１四半期　355,503百万円　24年３月期　346,540百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年３月期	－	0.00	－	20.00	20.00
25年３月期	－				
25年３月期（予想）		－	－	－	－

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
25年３月期の配当予想額については、現時点では未定です。

３．平成25年度３月期の連結業績予想（平成24年４月１日～平成25年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	経常収益		経常利益		当期純利益		１株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,115,000	3.4	67,000	△10.2	37,000	12.8	85.06

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無
注）従来、第２四半期連結累計期間の業績予想を記載しておりましたが、当社グループの長期的視点にたった事業の特性に鑑み、25年３月期より第２四半期連結累計期間の業績予想の記載を省略しております。

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無
②　①以外の会計方針の変更　：有
③　会計上の見積りの変更　：有
④　修正再表示　：無

（注）「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の５に該当するものであります。詳細は、添付資料３ページ「２．サマリー情報（注記事項）に関する事項　会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年３月期１Ｑ	435,000,000株	24年３月期	435,000,000株
②　期末自己株式数	25年３月期１Ｑ	－株	24年３月期	－株
③　期中平均株式数（四半期累計）	25年３月期１Ｑ	435,000,000株	24年３月期１Ｑ	435,000,000株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は完了しております。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

１．本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、11ページの「注意事項」をご覧ください。

２．平成25年３月期の配当予想額については未定としておりますが、今後の当社グループを取り巻く事業環境等を総合的に勘案して、開示が可能となった時点で速やかにお知らせいたします。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 8
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 9
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 9
（５）セグメント情報等 …… 9
（６）重要な後発事象 …… 10
４．補足情報
2012年度第１四半期連結業績およびソニー生命の2012年６月末MCEV …… 12

※ 当社は、2012年度第１四半期連結業績についての国内機関投資家・アナリスト向けのカンファレンスコールを以下のとおり開催する予定です。当カンファレンスコールの模様については、開催後に質疑応答の要旨を当社ホームページ（下記URL ご参照）に掲載するとともに、音声配信も行う予定です。

開催予定日　：平成24年８月13日（月）16:00～
「2012年度第１四半期決算説明会」（2012年度第１四半期連結業績説明およびソニー生命の2012年６月末MCEV）

当社ホームページURL： http://www.sonyfh.co.jp/

掲載予定日　：平成24年８月13日（月）15:00

※ ソニー生命保険株式会社は「平成24年度第１四半期業績のご報告」を、ソニー損害保険株式会社は「平成25年３月期 第１四半期の主要業績のお知らせ」を、ソニー銀行株式会社は「平成25年３月期第１四半期決算の概要[日本基準]（連結）」を、本日それぞれ発表しておりますので、各社ホームページも併せてご参照ください（当社ホームページからもご参照いただけます）。

ソニー生命ホームページURL： http://www.sonylife.co.jp/
ソニー損保ホームページURL： http://www.sonysonpo.co.jp/
ソニー銀行ホームページURL： http://sonybank.net/

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期連結累計期間の経常収益は、生命保険事業、損害保険事業および銀行事業のすべての事業において増加し、前年同期比8.0%増の2,772億円となりました。経常利益は、生命保険事業、損害保険事業および銀行事業のすべての事業で減少し、前年同期比20.3%減の154億円となりました。

経常利益に特別損失、契約者配当準備金戻入額、法人税等合計を加減した四半期純利益は前年同期比11.7%減の96億円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

＜生命保険事業＞

生命保険事業においては、保有契約の堅調な推移により保険料等収入が前年同期比12.0%増の2,180億円となりました。一方、資産運用収益は、金融市場環境の悪化にともない特別勘定の資産運用損益が悪化したことにより、前年同期比4.0%減の278億円となりました。その結果、経常収益は、前年同期比8.0%増の2,476億円となりました。経常収益が増加したものの、変額保険の最低保証にかかる責任準備金繰入額が増加したこと、および前年同期において東日本大震災にともなう保険金支払額が支払備金で想定した金額より少なかったことによる利益の計上があったことなどにより、経常利益は前年同期比21.9%減の137億円となりました。

＜損害保険事業＞

損害保険事業においては、主力の自動車保険を中心とした保有契約件数の伸びにより正味収入保険料が前年同期比6.3%増の214億円となりました。その結果、経常収益は前年同期比6.3%増の217億円となりました。一方、経常利益は、自動車保険の正味支払保険金が増加し損害率が上昇したことにより、前年同期比8.0%減の７億円となりました。

＜銀行事業＞

銀行事業においては、平成23年７月１日にソニー銀行が㈱スマートリンクネットワークを子会社化（持株比率57%）し、同社が連結対象となったことにより役務取引等収益が増加し、経常収益は前年同期比12.4%増の83億円となりました。業務粗利益は、住宅ローン残高の増加にともない資金運用収支が拡大したことに加え、前述の㈱スマートリンクネットワークの子会社化にともなう役務取引等収支の改善もあり、前年同期比15.5%増の52億円となりました。営業経費は、前年同期比19.6%増の42億円となりました。その結果、経常利益は、前年同期比0.6%減の８億円となりました。

なお、銀行事業の業績にはソニー銀行（連結）の業績には含まれていないのれんの償却費※１億円が含まれています。

※平成20年３月に、少数株主が保有していたソニー銀行株式の持分を当社が買取り完全子会社化した際に発生したもので、５年間の定額償却を行なっております。

経　常　収　益　　（単位：百万円）

	平成24年３月期 （平成23年４月１日～ 平成23年６月30日）	**平成25年３月期 （平成24年４月１日～ 平成24年６月30日）**	増減率(%)
生命保険事業	229,356	247,671	8.0
損害保険事業	20,469	21,751	6.3
銀行事業	7,445	8,371	12.4
小 計	257,272	277,794	8.0
セグメント間の 内部経常収益	△462	△554	－
連 結	256,810	277,239	8.0

経 常 利 益 （単位：百万円）

	平成24年３月期 （平成23年４月１日～ 平成23年６月30日）	**平成25年３月期 （平成24年４月１日～ 平成24年６月30日）**	増減率(%)
生命保険事業	17,636	13,770	△21.9
損害保険事業	789	725	△8.0
銀行事業	891	886	△0.6
小 計	19,317	15,382	△20.4
事業セグメントに配分していない損益等（※）	33	41	23.1
連 結	19,351	15,424	△20.3

（※）主として持株会社（連結財務諸表提出会社）に係る損益であります。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第１四半期連結会計期間末における総資産は、前年度末比1.7%増の７兆3,650億円となりました。主な勘定残高は、国債を中心とした有価証券が前年度末比2.2%増の５兆6,529億円、貸出金が前年度末比3.2%増の１兆61億円、金銭の信託が前年度末比1.4%増の3,072億円であります。

負債の部合計は、前年度末比1.7%増の７兆82億円となりました。主な勘定残高は、保険契約準備金が前年度末比2.2%増の５兆721億円、預金が前年度末比0.3%増の１兆7,661億円であります。

純資産の部合計は、前年度末比2.6%増加し、3,568億円となりました。純資産の部のうち、その他有価証券評価差額金は、金利低下にともなう債券価格の上昇などにより、前年度末比83億円増加の453億円となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成25年３月期の連結業績予想は、平成24年５月10日の「平成24年３月期決算速報、および平成25年３月期通期業績見通しに関するお知らせ」にて公表した連結業績予想から変更しておりません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

有形固定資産の減価償却方法の変更

当社及び国内連結子会社は、従来、一部の有形固定資産の減価償却方法について、定率法を採用しておりましたが、親会社との会計方針の統一を目的として、当第１四半期連結会計期間より将来にわたり定額法に変更しております。この結果、従来の方法と比べて、当第１四半期連結累計期間の減価償却費及び賃貸用不動産等減価償却費が83百万円減少し、経常利益及び税金等調整前四半期純利益が83百万円増加しております。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成24年６月30日）
資産の部		
現金及び預貯金	118,877	100,378
コールローン及び買入手形	66,300	45,200
金銭の信託	303,058	307,292
有価証券	5,531,585	5,652,927
貸出金	975,032	1,006,159
有形固定資産	75,169	74,720
無形固定資産	36,636	36,364
のれん	839	694
その他	35,796	35,670
代理店貸	－	0
再保険貸	79	82
外国為替	8,936	9,657
その他資産	92,416	101,915
繰延税金資産	34,171	31,245
支払承諾見返	1,000	1,000
貸倒引当金	△1,848	△1,893
資産の部合計	7,241,414	7,365,051
負債の部		
保険契約準備金	4,963,025	5,072,122
支払備金	48,233	47,660
責任準備金	4,910,669	5,020,464
契約者配当準備金	4,122	3,997
代理店借	1,664	1,333
再保険借	647	479
預金	1,760,853	1,766,149
コールマネー及び売渡手形	10,000	10,000
借用金	2,000	2,224
外国為替	35	21
社債	10,000	10,000
その他負債	93,563	93,424
賞与引当金	2,944	1,387
退職給付引当金	21,547	22,182
役員退職慰労引当金	354	342
特別法上の準備金	25,386	26,979
価格変動準備金	25,380	26,973
金融商品取引責任準備金	6	6
再評価に係る繰延税金負債	589	589
支払承諾	1,000	1,000
負債の部合計	6,893,613	7,008,235

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成24年６月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,900	19,900
資本剰余金	195,277	195,277
利益剰余金	98,677	99,591
株主資本合計	313,854	314,768
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	36,949	45,311
繰延ヘッジ損益	△2,414	△2,916
土地再評価差額金	△1,395	△1,395
為替換算調整勘定	△453	△264
その他の包括利益累計額合計	32,685	40,734
少数株主持分	1,260	1,312
純資産の部合計	347,800	356,815
負債及び純資産の部合計	7,241,414	7,365,051

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）
経常収益	256,810	277,239
生命保険事業	228,901	247,163
保険料等収入	194,514	217,825
資産運用収益	28,932	27,775
（うち利息及び配当金等収入）	23,149	25,657
（うち金銭の信託運用益）	1,322	1,312
（うち有価証券売却益）	511	792
（うち特別勘定資産運用益）	3,949	－
その他経常収益	5,454	1,562
損害保険事業	20,468	21,751
保険引受収益	20,215	21,489
（うち正味収入保険料）	20,208	21,481
（うち積立保険料等運用益）	7	8
資産運用収益	217	231
（うち利息及び配当金収入）	206	226
（うち有価証券売却益）	19	13
（うち積立保険料等運用益振替）	△7	△8
その他経常収益	35	30
銀行事業	7,439	8,324
資金運用収益	6,123	6,255
（うち貸出金利息）	3,243	3,381
（うち有価証券利息配当金）	2,870	2,855
役務取引等収益	557	1,385
その他業務収益	735	645
（うち外国為替売買益）	405	434
その他経常収益	23	37
経常費用	237,458	261,815
生命保険事業	211,601	233,736
保険金等支払金	71,399	69,923
（うち保険金）	20,098	17,284
（うち年金）	1,911	2,226
（うち給付金）	8,271	8,669
（うち解約返戻金）	40,048	40,668
（うちその他返戻金）	617	651
責任準備金等繰入額	108,166	107,273
責任準備金繰入額	108,161	107,270
契約者配当金積立利息繰入額	4	3
資産運用費用	3,063	26,116
（うち支払利息）	18	12
（うち有価証券売却損）	435	98
（うち有価証券評価損）	213	107
（うち特別勘定資産運用損）	－	23,643

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）
事業費	25,047	26,141
その他経常費用	3,924	4,281
損害保険事業	19,568	20,869
保険引受費用	15,007	16,027
（うち正味支払保険金）	10,267	11,461
（うち損害調査費）	1,221	1,395
（うち諸手数料及び集金費）	319	296
（うち支払備金繰入額）	164	372
（うち責任準備金繰入額）	3,033	2,501
資産運用費用	1	0
営業費及び一般管理費	4,556	4,839
その他経常費用	3	1
銀行事業	6,288	7,209
資金調達費用	2,260	2,196
（うち預金利息）	1,783	1,741
役務取引等費用	294	353
その他業務費用	159	321
営業経費	3,503	4,241
その他経常費用	70	96
経常利益	19,351	15,424
特別損失	1,874	1,674
固定資産等処分損	6	5
減損損失	0	76
特別法上の準備金繰入額	1,867	1,592
価格変動準備金繰入額	1,867	1,592
契約者配当準備金繰入額又は契約者配当準備金戻入額（△）	△6	△6
税金等調整前四半期純利益	17,483	13,756
法人税及び住民税等	5,211	4,891
法人税等調整額	1,388	△800
法人税等合計	6,600	4,090
少数株主損益調整前四半期純利益	10,883	9,665
少数株主利益	―	52
四半期純利益	10,883	9,613

（四半期連結包括利益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	10,883	9,665
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12,957	8,362
繰延ヘッジ損益	△482	△502
為替換算調整勘定	66	189
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	0
その他の包括利益合計	12,540	8,049
四半期包括利益	23,423	17,714
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	23,423	17,662
少数株主に係る四半期包括利益	－	52

（３）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（５）セグメント情報等
前第１四半期連結累計期間（自平成23年４月１日 至平成23年６月30日）
１．報告セグメントごとの経常収益及び利益の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			
	生命保険事業	損害保険事業	銀行事業	計
経常収益				
(1) 外部顧客に対する経常収益	228,901	20,468	7,439	256,810
(2) セグメント間の内部経常収益	455	0	6	462
計	229,356	20,469	7,445	257,272
セグメント利益	17,636	789	891	19,317

（注）一般企業の売上高に代えて、それぞれ経常収益を記載しております。

２．報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	19,317
セグメント間取引の調整額	2
事業セグメントに配分していない損益（注）	30
四半期連結損益計算書の経常利益	19,351

（注）主として持株会社（連結財務諸表提出会社）に係る損益であります。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

当第１四半期連結累計期間（自平成24年４月１日 至平成24年６月30日）

１．報告セグメントごとの経常収益及び利益の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			
	生命保険事業	損害保険事業	銀行事業	計
経常収益				
(1) 外部顧客に対する経常収益	247,163	21,751	8,324	277,239
(2) セグメント間の内部経常収益	507	－	47	554
計	247,671	21,751	8,371	277,794
セグメント利益	13,770	725	886	15,382

（注）一般企業の売上高に代えて、それぞれ経常収益を記載しております。

２．報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	15,382
セグメント間取引の調整額	1
事業セグメントに配分していない損益（注）	40
四半期連結損益計算書の経常利益	15,424

（注）主として持株会社（連結財務諸表提出会社）に係る損益であります。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

（６）重要な後発事象
該当事項はありません。

当社の連結業績(*)は、日本の会計基準に準拠して作成しており、その会計基準は、当社の親会社であるソニー株式会社が開示する連結業績の準拠する米国の会計原則とは異なります。

*当社の連結業績の範囲には、ソニーフィナンシャルホールディングス株式会社、ソニー生命保険株式会社、ソニー損害保険株式会社、ソニー銀行株式会社、Sony Life Insurance (Philippines) Corporation、ソニーバンク証券株式会社、株式会社スマートリンクネットワーク、ならびに、持分法適用会社としてソニーライフ・エイゴン生命保険株式会社およびSA Reinsurance Ltd.が含まれております。なお、当社の平成24年３月期第１四半期の連結範囲には、株式会社スマートリンクネットワークは含まれておりません。

また、ソニー株式会社が平成24年８月２日に発表した2012年度（平成24年４月１日～平成24年６月30日）連結業績において、当社グループはソニーグループの金融分野における主要な部分を構成しておりますが、当社の連結範囲と、ソニー株式会社がソニーグループの金融分野として位置づける範囲は同一ではありません。

注意事項

本資料に記載されている、当社グループの現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しです。将来の業績に関する見通しは、将来の営業活動や業績、出来事・状況などに関する説明における「確信」、「期待」、「計画」、「戦略」、「見込み」、「予測」、「予想」、「可能性」やその類義語を用いたものに限定されません。口頭または書面による見通し情報は、広く一般に開示される他の媒体にもたびたび含まれる可能性があります。これらの情報は、現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいています。実際の業績は、様々な重要な要素により、これら業績見通しと大きく異なる結果となりうるため、これら業績見通しのみに全面的に依拠することは控えるようお願いします。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、常に当社が将来の見通しを見直すとは限りません。当社はそのような見直しの義務を負いません。また、本資料は日本国内外を問わず一切の投資勧誘またはそれに類する行為のために作成されたものではありません。

４．補足情報

補足情報（プレゼンテーション資料）の目次

2012年度第１四半期 連結業績およびソニー生命の2012年６月末MCEV

2012年度第１四半期 連結業績 …… 3
2012年度 連結業績予想 …… 26
ソニー生命の2012年６月末MCEVおよび経済価値ベースのリスク量…… 28
参考情報…… 30

Sony Financial Holdings

【プレゼンテーション資料】

2012年度第1四半期 連結業績 および ソニー生命の2012年6月末MCEV

ソニーフィナンシャルホールディングス株式会社
2012年8月13日

目次

- 2012年度第1四半期 連結業績 P. 3
- 2012年度 連結業績予想 P.26
- ソニー生命の2012年6月末MCEVおよび経済価値ベースのリスク量 P.28
- 参考情報 P.30

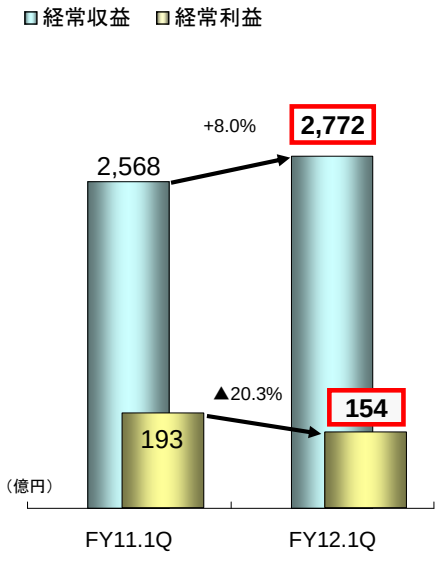
免責事項:
このプレゼンテーション資料に記載されている、当社グループの現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しです。将来の業績に関する見通しは、将来の営業活動や業績、出来事・状況などに関する説明における「確信」、「期待」、「計画」、「戦略」、「見込み」、「予測」、「予想」、「可能性」やその類義語を用いたものに限定されません。口頭または書面による見通し情報は、現在入手可能な情報から得られた当社グループの経営者の判断にもとづいています。実際の業績は、様々なリスクや不確実な要素により、これら業績見通しと大きく異なる結果となりうるため、これら業績見通しに依拠することは控えるようお願いします。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、常に当社グループが将来の見通しを見直すとは限りません。当社グループはいずれもそのような見直しの義務を負いません。また、このプレゼンテーション資料は日本国内外を問わず一切の投資勧誘またはそれに類する行為のために作成されたものではありません。

Sony Financial Holdings

2012年度第1四半期 連結業績

連結業績ハイライト（1）

Sony Financial Holdings



（億円）		FY11.1Q	FY12.1Q	前年同期比	
生命保険事業	経常収益	2,293	**2,476**	+183	+8.0%
	経常利益	176	**137**	▲38	▲21.9%
損害保険事業	経常収益	204	**217**	+12	+6.3%
	経常利益	7	**7**	▲0	▲8.0%
銀行事業	経常収益	74	**83**	+9	+12.4%
	経常利益	8	**8**	▲0	▲0.6%
セグメント間の内部経常収益・利益（※）	経常収益	▲4	**▲5**	▲0	–
	経常利益	0	**0**	0	+23.1%
SFHG連結	経常収益	2,568	**2,772**	+204	+8.0%
	経常利益	193	**154**	▲39	▲20.3%
	四半期純利益	108	**96**	▲12	▲11.7%

（※）主として持株会社（連結財務諸表提出会社）に係る損益。

（億円）		12.3末	12.6末	前年度末比	
SFHG連結	総資産	72,414	**73,650**	+1,236	+1.7%
	純資産	3,478	**3,568**	+90	+2.6%

（注）包括利益：FY11.1Q･･･234億円、FY12.1Q ･･･177億円

※金額は億円未満切捨て、増減率は四捨五入で表示

連結業績ハイライト（2）

- 生命保険事業では、保有契約高が堅調に推移し保険料等収入が増加したことにより、経常収益は増加。経常利益は、変額保険の最低保証にかかる責任準備金繰入額が増加したこと、および前年同期において東日本大震災にともなう保険金支払額が支払備金で想定した金額より少なかったことによる利益の計上があったことなどにより、減益。

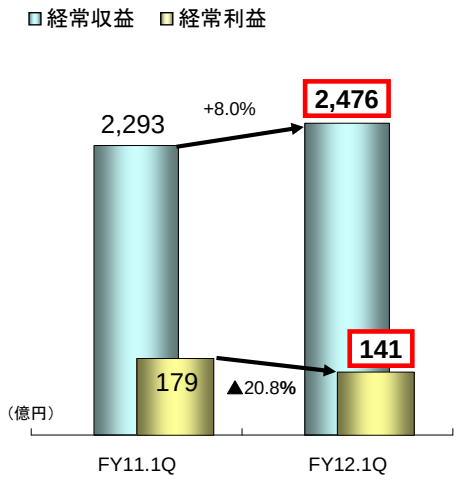
- 損害保険事業では、主力の自動車保険を中心に正味収入保険料が増加したことにより、経常収益は増加。経常利益は、自動車保険の正味支払保険金が増加し、損害率が上昇したことから、若干の減益。

- 銀行事業では、2011年7月にソニー銀行が㈱スマートリンクネットワークを子会社化し、同社が連結対象となったことにより役務取引等収益が増加し、経常収益は増加。経常利益は、主に住宅ローン取引に係る利益が増加した一方、外貨関連取引に係る利益が減少したことから、ほぼ横ばい。

- 連結経常収益は、8.0%増加の2,772億円。連結経常利益は、20.3%減少の154億円。連結四半期純利益は、経常利益が減少したことから、11.7%減少の96億円。

※金額は億円未満切捨て、増減率は四捨五入で表示

ソニー生命　業績ハイライト（単体）



◆前年同期比　増収減益。
◆保有契約高の堅調な推移により保険料等収入が増加。
◆資産運用収益は、利息及び配当金等収入の増加などにより一般勘定における資産運用収益が増加したものの、金融市場環境の悪化にともない特別勘定の資産運用損益が悪化したことにより、減少。
◆経常利益は、変額保険の最低保証にかかる責任準備金繰入額が増加したこと、および前年同期において東日本大震災にともなう保険金支払額が支払備金で想定した金額より少なかったことによる利益の計上があったことなどにより、減益。

（億円）	FY11.1Q	FY12.1Q	前年同期比	
経常収益	2,293	**2,476**	+183	+8.0%
保険料等収入	1,946	**2,179**	+233	+12.0%
資産運用収益	290	**278**	▲11	▲4.0%
うち利息及び配当金等収入	232	**257**	+25	+10.8%
うち金銭の信託運用益	13	**13**	▲0	▲0.7%
うち有価証券売却益	5	**7**	+2	+52.7%
うち特別勘定資産運用益	39	**－**	▲39	▲100.0%
経常費用	2,113	**2,334**	+220	+10.4%
保険金等支払金	713	**699**	▲14	▲2.1%
責任準備金等繰入額	1,081	**1,072**	▲9	▲0.8%
資産運用費用	30	**261**	+230	+745.2%
うち有価証券売却損	4	**0**	▲3	▲77.5%
うち特別勘定資産運用損	－	**236**	+236	－
事業費	251	**261**	+10	+4.3%
経常利益	179	**141**	▲37	▲20.8%
四半期純利益	101	**82**	▲19	▲19.4%

（億円）	12.3末	12.6末	前年度末比	
有価証券残高	45,450	**46,571**	+1,121	+2.5%
責任準備金残高	48,430	**49,502**	+1,072	+2.2%
純資産額	2,648	**2,722**	+73	+2.8%
その他有価証券評価差額金	340	**423**	+82	+24.3%
総資産額	52,228	**53,307**	+1,079	+2.1%
特別勘定資産	4,442	**4,275**	▲167	▲3.8%

※金額は億円未満切捨て、増減率は四捨五入で表示

ソニー生命　主要業績指標（単体）

（億円）	FY11.1Q	FY12.1Q	増減率
新契約高	10,544	10,665	+1.1%
解約・失効高	5,303	4,975	▲6.2%
解約・失効率	1.53%	1.38%	▲0.15pt
保有契約高	350,734	364,320	+3.9%
新契約年換算保険料	171	174	+1.6%
うち第三分野	42	44	+4.5%
保有契約年換算保険料	6,115	6,430	+5.2%
うち第三分野	1,431	1,515	+5.9%

（注）新契約高、解約・失効高、解約・失効率、保有契約高、新契約年換算保険料、保有契約年換算保険料は、個人保険と個人年金保険の合計。解約・失効率は、契約高の減額または増額および復活を含めない解約・失効高を年度始の保有契約高で除した率。

（億円）	FY11.1Q	FY12.1Q	増減率
資産運用損益（一般勘定）	219	253	+15.3%
基礎利益	192	147	▲23.0%
逆ざや額	13	5	▲61.5%

	12.3末	12.6末	前年度末比
ソルベンシー・マージン比率	1,980.4%	2,081.8%	+101.4pt

（注）ソルベンシー・マージン比率は、いずれも2012年3月末（2011年度末）より適用された新基準により算出したもの。

＜主な増減要因＞

◆主に生前給付保険の販売が増加したことなどにより、増加。

◆解約・失効率は、定期保険を中心に総じて低下。

◆主に生前給付保険の販売が増加したことなどにより、増加。

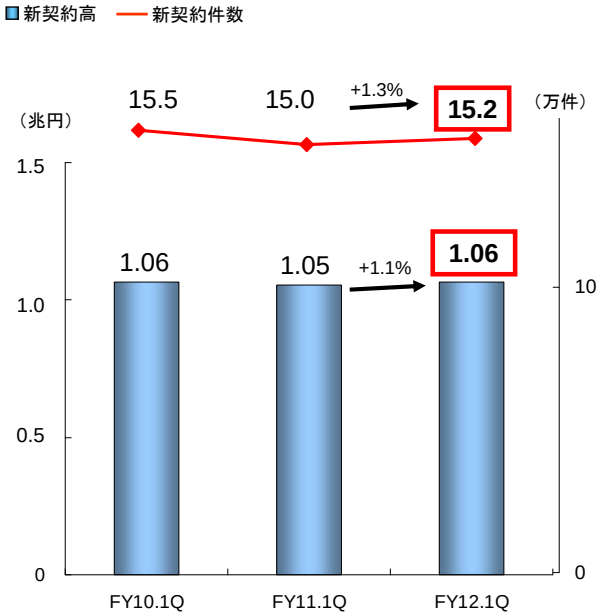
◆利息及び配当金等収入の増加により増加。

◆基礎利益は、逆ざや額が減少したものの、変額保険の最低保証にかかる責任準備金繰入額が増加したこと、および前年同期において東日本大震災にともなう保険金支払額が支払備金で想定した金額より少なかったことによる利益の計上があったことなどにより、減少。

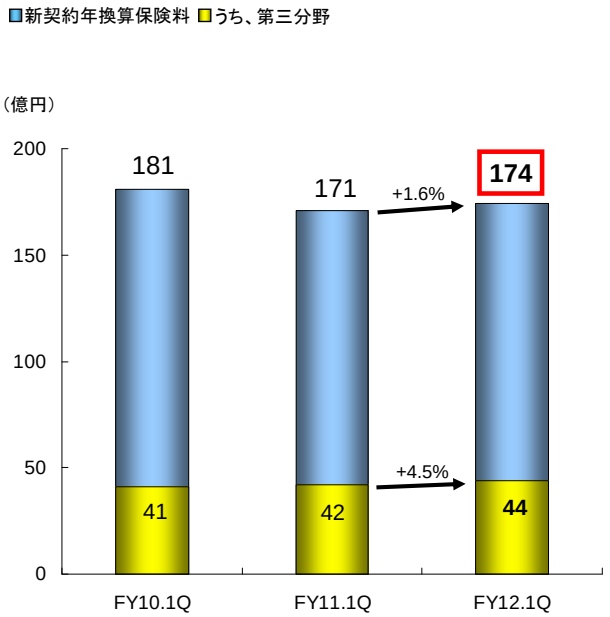
※金額は単位未満切捨て、増減率は四捨五入で表示

ソニー生命の業績（1）

新契約高・件数　（個人保険＋個人年金保険）



新契約年換算保険料　（個人保険＋個人年金保険）

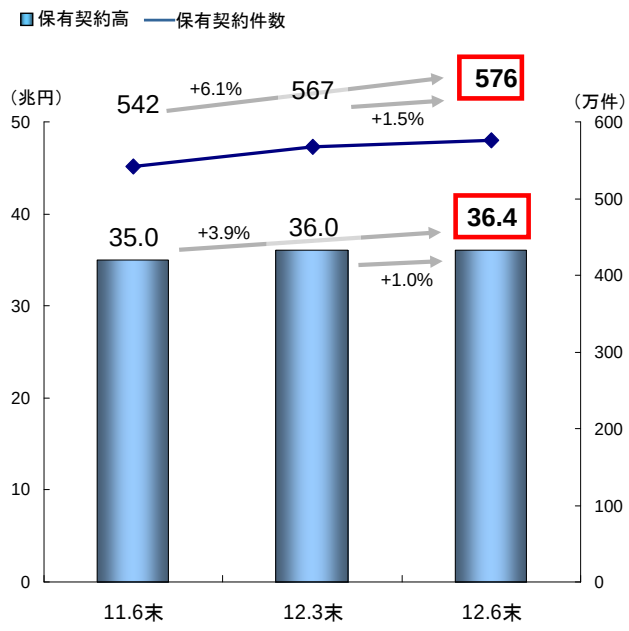


※新契約高は百億円未満切捨て、新契約年換算保険料は億円未満切捨て、件数は千件未満切捨て、増減率は四捨五入で表示

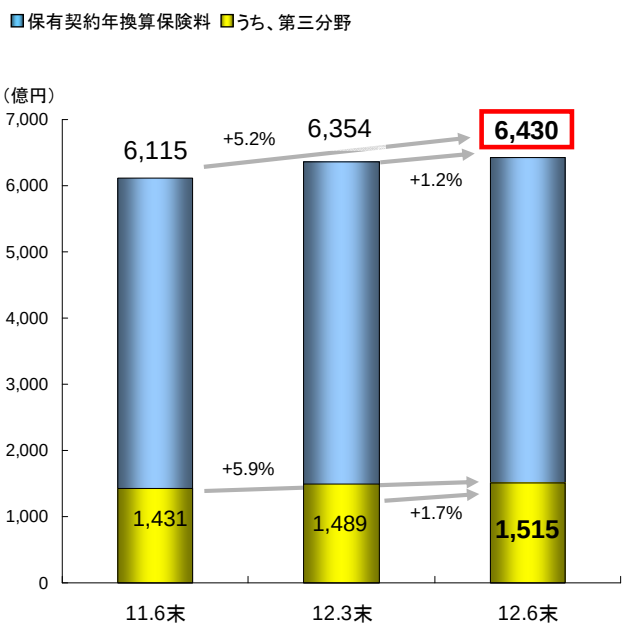
ソニー生命の業績(2)

Sony Financial Holdings

保有契約高・件数 (個人保険+個人年金保険)



保有契約年換算保険料 (個人保険+個人年金保険)



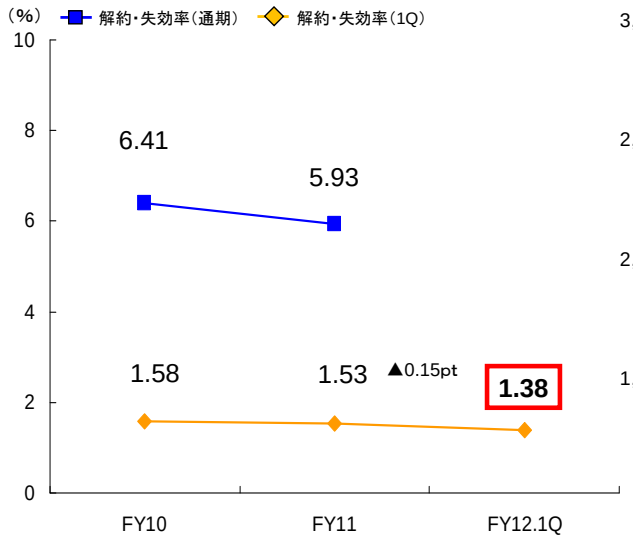
※保有契約高は千億円未満切捨て、保有契約年換算保険料は億円未満切捨て、件数は万件未満切捨て、増減率は四捨五入で表示

ソニー生命の業績(3)

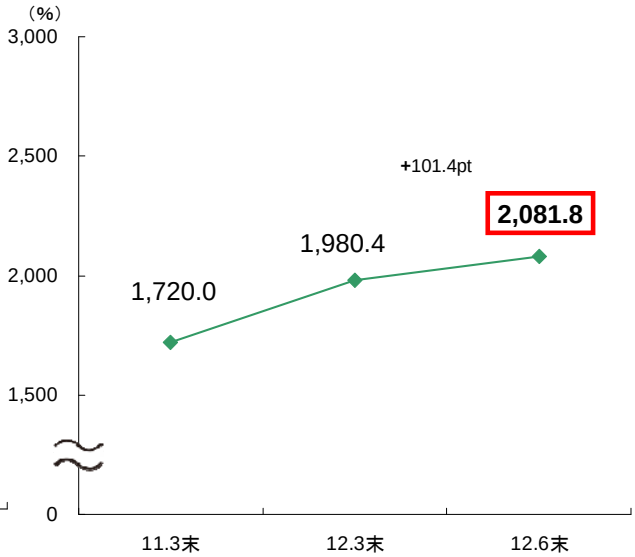
Sony Financial Holdings

解約・失効率* (個人保険+個人年金保険)

* 解約・失効率は、契約高の減額または増額および復活を含めない解約・失効高を年度始の保有契約高で除した率



ソルベンシー・マージン比率

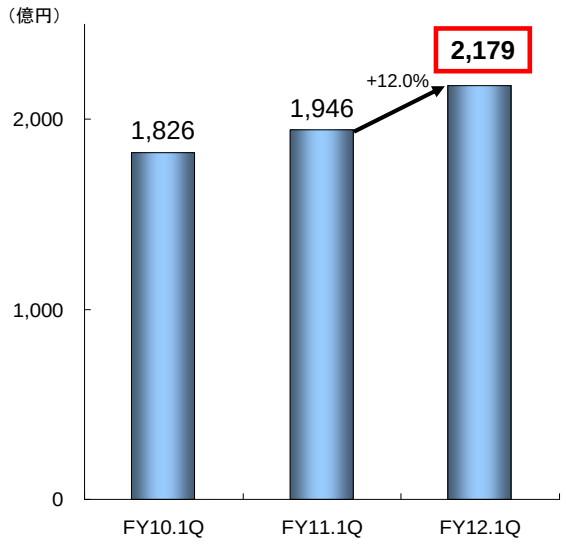


(注) ソルベンシー・マージン比率は、いずれも2012年3月末(2011年度末)より適用された新基準により算出したもの。

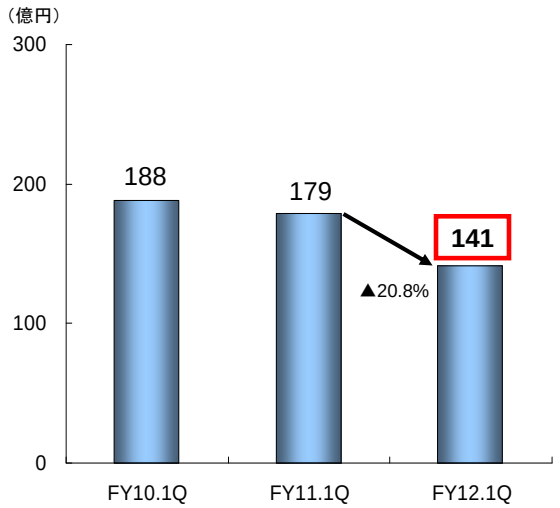
ソニー生命の業績(4)

Sony Financial Holdings

保険料等収入



経常利益

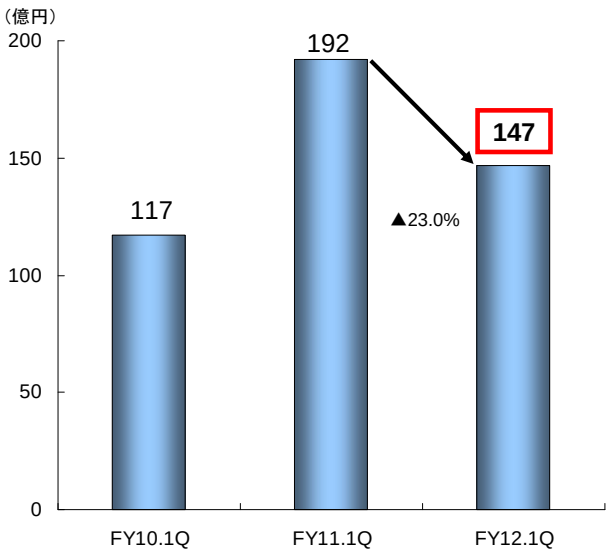


※金額は億円未満切捨て、増減率は四捨五入で表示

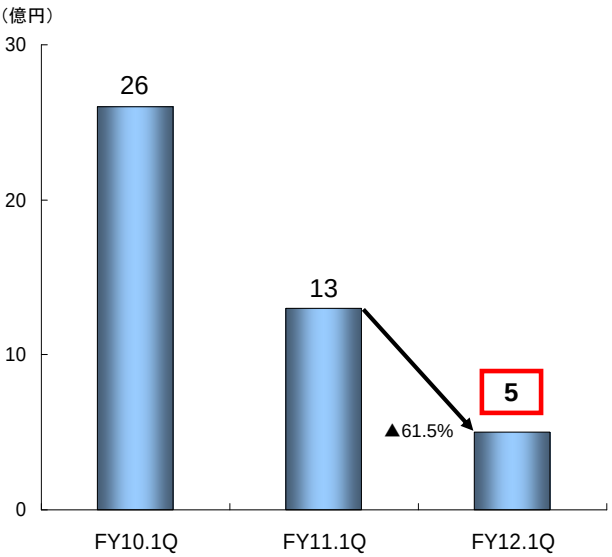
ソニー生命の業績(5)

Sony Financial Holdings

基礎利益



逆ざや額

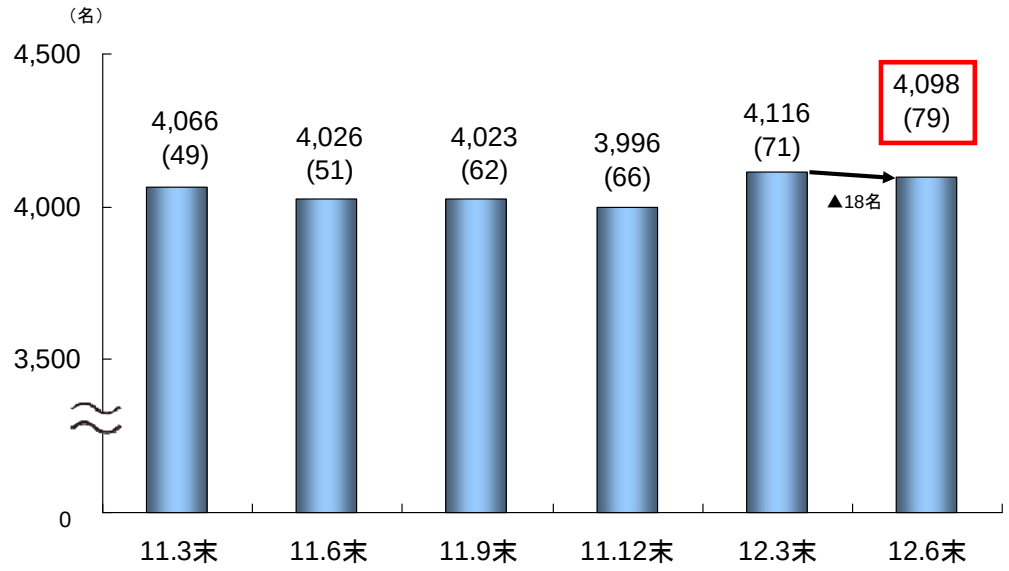


※金額は億円未満切捨て、増減率は四捨五入で表示

ソニー生命の業績(6)

Sony Financial Holdings

ライフプランナー在籍数



(注) ()は、嘱託ライフプランナー数で、内数です。

※「ライフプランナー」はソニー生命の登録商標です。

ソニー生命の業績(7)

Sony Financial Holdings

一般勘定資産の内訳

(億円)	12.3末		12.6末	
	金額	割合	金額	割合
公社債	39,757	83.2%	**41,138**	**83.9%**
株式	450	0.9%	**376**	**0.8%**
外国公社債	596	1.2%	**604**	**1.2%**
外国株式等	305	0.6%	**301**	**0.6%**
金銭の信託	2,882	6.0%	**2,925**	**6.0%**
約款貸付	1,387	2.9%	**1,388**	**2.8%**
不動産	729	1.5%	**724**	**1.5%**
現預金・コールローン	648	1.4%	**463**	**0.9%**
その他	1,026	2.1%	**1,110**	**2.3%**
合計	47,785	100.0%	**49,032**	**100.0%**

＜資産運用状況＞

金利リスクの低減を目的に、保険契約の持つ長期の負債特性に合わせて、資産サイドの保有債券のデュレーションを長期化。

公社債: 2012年度 ・・・ 超長期債購入継続

〔債券のDuration〕

2011. 3末 18.5 年
2012. 3末 19.2 年
2012. 6末 19.2 年

■「金銭の信託」は主に公社債を中心に運用。

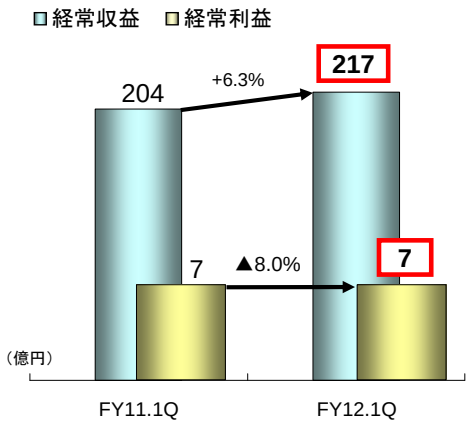
■一般勘定資産における公社債(金銭の信託で運用されているものを含む)の実質的な構成比

2012.6末・・・89.9% (2012.3末・・・89.2%)

※金額は億円未満切捨て、増減率は四捨五入で表示

ソニー損保　業績ハイライト

Sony Financial Holdings



（億円）	FY11.1Q	FY12.1Q	前年同期比	
経常収益	204	**217**	+12	+6.3%
保険引受収益	202	**214**	+12	+6.3%
資産運用収益	2	**2**	+0	+6.4%
経常費用	196	**210**	+13	+6.8%
保険引受費用	151	**161**	+10	+6.8%
資産運用費用	0	**0**	▲0	▲93.2%
営業費及び一般管理費	45	**48**	+3	+7.0%
経常利益	7	**7**	▲0	▲8.0%
四半期純利益	4	**4**	▲0	▲9.4%

◆ 前年同期比増収減益。
◆ 自動車保険を中心とした保有契約件数の伸びによって正味収入保険料が増加したことにより、経常収益は増加。
◆ 自動車保険の正味支払保険金が増加し損害率が上昇したことから、経常利益は減益。

（億円）	12.3末	12.6末	前年度末比	
責任準備金残高	673	**698**	+25	+3.7%
純資産額	180	**184**	+4	+2.4%
総資産額	1,186	**1,200**	+14	+1.2%

※金額は億円未満切捨て、増減率は四捨五入で表示

ソニー損保　主要業績指標

Sony Financial Holdings

（億円）	FY11.1Q	FY12.1Q	前年同期比
元受正味保険料	200	**212**	+6.0%
正味収入保険料	202	**214**	+6.3%
正味支払保険金	102	**114**	+11.6%
保険引受利益	5	**4**	▲13.0%
正味損害率	56.9%	**59.9%**	+3.0pt
正味事業費率	24.6%	**24.5%**	▲0.1pt
コンバインド・レシオ	81.4%	**84.4%**	+3.0pt

＜主な増減要因＞

◆ 自動車保険を中心とした保有契約件数の伸びにより、増加。

◆自動車保険の保有契約件数の増加に加え、主に保険金単価の上昇および自然災害の影響により、増加。

（注）正味損害率　＝（正味支払保険金＋損害調査費）÷正味収入保険料
正味事業費率 ＝ 保険引受に係る事業費÷正味収入保険料

	12.3末	12.6末	前年度末比	
保有契約件数	149万件	**151万件**	+2万件	+1.5%
ソルベンシー・マージン比率	557.8%	**558.8%**	+1.0pt	

◆ 自動車保険を中心に保有契約件数が増加。

（注）保有契約件数は、自動車保険とガン重点医療保険の合算値。両方で正味収入保険料の99%を占める。

※金額は億円未満切捨て、件数は万件未満切捨て、増減率は四捨五入で表示

ソニー損保　種目別保険引受の状況

Sony Financial Holdings

元受正味保険料

（百万円）	FY11.1Q	FY12.1Q	増減率
火　　災	32	**63**	+97.9%
海　　上	—	**—**	—
傷　　害	1,805	**1,931**	+6.9%
自 動 車	18,184	**19,219**	+5.7%
自 賠 責	—	**—**	—
合計	20,022	**21,214**	+6.0%

正味収入保険料

（百万円）	FY11.1Q	FY12.1Q	増減率
火　　災	**61**	**69**	+11.6%
海　　上	**2**	**42**	—
傷　　害	**1,875**	**2,001**	+6.8%
自 動 車	**18,117**	**19,150**	+5.7%
自 賠 責	**150**	**217**	+45.1%
合計	**20,208**	**21,481**	+6.3%

正味支払保険金

（百万円）	FY11.1Q	FY12.1Q	増減率
火　　災	7	**0**	▲95.3%
海　　上	8	**122**	—
傷　　害	426	**467**	+9.5%
自 動 車	9,627	**10,631**	+10.4%
自 賠 責	197	**239**	+21.3%
合計	10,267	**11,461**	+11.6%

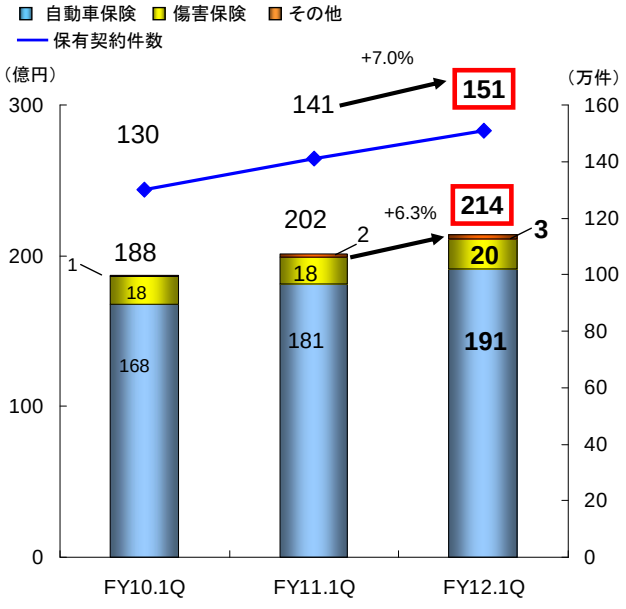
（注）「傷害」にはガン重点医療保険SURE〈シュア〉が含まれる。

※金額は百万円未満切捨て、増減率は四捨五入で表示

ソニー損保の業績（1）

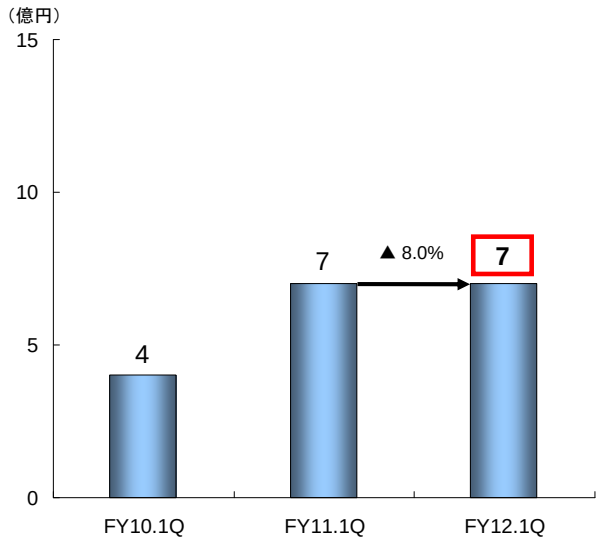
Sony Financial Holdings

正味収入保険料と保有契約件数



（注）保有契約件数は、自動車保険とガン重点医療保険の合算値。
両方で正味収入保険料の99%を占める。
傷害保険の9割以上が、ガン重点医療保険である。

経常利益

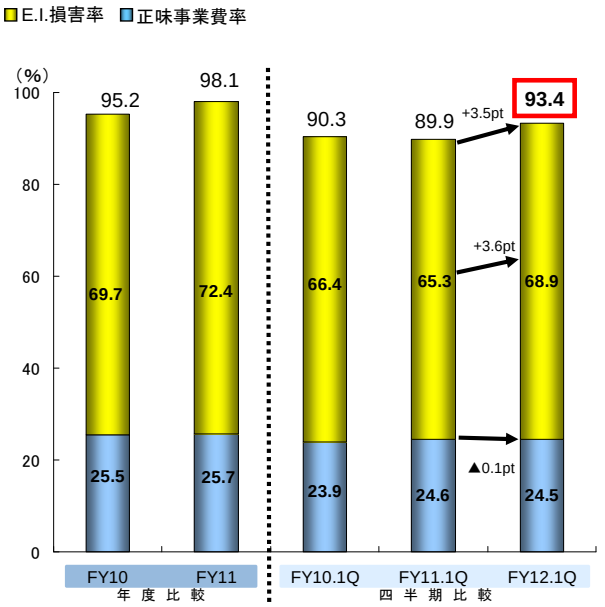


※金額は億円未満切捨て、件数は万件未満切捨て、増減率は四捨五入で表示

ソニー損保の業績（2）

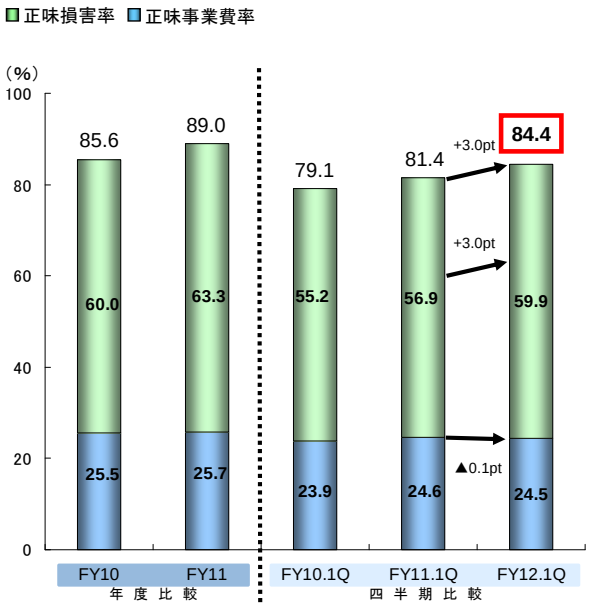
Sony Financial Holdings

E.I.損害率 ＋ 正味事業費率



（注）E.I.損害率　＝（正味支払保険金＋支払備金繰入額＋損害調査費）÷既経過保険料
［除く地震保険、自賠責保険］
正味事業費率 ＝保険引受に係る事業費÷正味収入保険料

＜参考＞　コンバインド・レシオ（正味損害率 ＋ 正味事業費率）

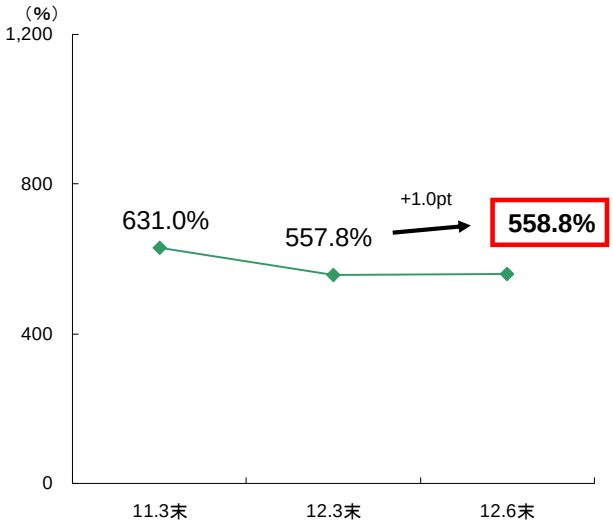


（注）正味損害率　＝（正味支払保険金＋損害調査費）÷正味収入保険料
正味事業費率 ＝ 保険引受に係る事業費÷正味収入保険料

ソニー損保の業績（3）

Sony Financial Holdings

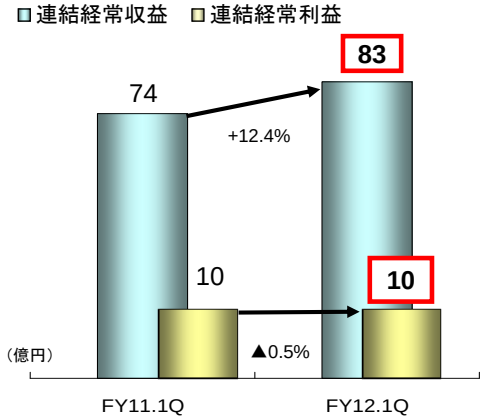
ソルベンシー・マージン比率



（注）ソルベンシー・マージン比率は、いずれも2012年3月末（2011年度末）より適用された新基準により算出したもの。

ソニー銀行　業績ハイライト（連結・単体）

Sony Financial Holdings



＜連結＞

◆ 連結経常収益は、㈱スマートリンクネットワークの子会社化により役務取引等収益が増加し、前年同期比増収。連結経常利益は横ばい。連結四半期純利益は、ソニーバンク証券の累積損失に係る繰延税金資産を計上したことから増益。

＜銀行単体＞

◆ 業務粗利益は、住宅ローンに係る利益は増加したものの、外貨関連取引に係る利益が減少し、前年同期比減少。

◆ 四半期純利益（損失）は、ソニーバンク証券株式の評価損を計上したことにより、12億円の損失。

◆ 業務純益は、業容拡大にともなう人員増強などにより営業経費が増加したこともあり、減少。

＜連結＞

（億円）	FY11.1Q	FY12.1Q	前年同期比	
連結経常収益	74	**83**	+9	+12.4%
連結経常利益	10	**10**	▲0	▲0.5%
連結四半期純利益	5	**14**	+8	+154.1%

＜銀行単体＞

（億円）	FY11.1Q	FY12.1Q	前年同期比	
経常収益	74	**75**	+0	+0.9%
業務粗利益	45	**44**	▲0	▲1.7%
資金運用収支	38	**40**	+1	+5.0%
役務取引等収支	0.6	**0.4**	▲0.1	▲27.9%
その他業務収支	5	**3**	▲2	▲43.6%
営業経費	33	**35**	+1	+4.3%
経常利益	11	**8**	▲2	▲20.8%
四半期純利益（損失）	6	**▲12**	▲18	—
業務純益	11	**9**	▲2	▲21.3%

（億円）	12.3末	12.6末	前年度末比	
純資産額	627	**611**	▲16	▲2.6%
その他有価証券評価差額金	17	**18**	+0	+4.7%
総資産額	18,905	**19,020**	+115	+0.6%

※金額は億円未満切捨て（役務取引等収支を除く）、増減率は四捨五入で表示

ソニー銀行　主要業績指標（単体）①

Sony Financial Holdings

（億円）	11.6末	12.3末	12.6末	前年度末比	
預かり資産残高	17,722	18,643	**18,680**	+37	+0.2%
預金	16,645	17,622	**17,672**	+49	+0.3%
円預金	12,994	13,905	**14,018**	+112	+0.8%
外貨預金	3,650	3,717	**3,654**	▲62	▲1.7%
投資信託	1,076	1,020	**1,008**	▲12	▲1.2%
貸出金残高	7,483	8,355	**8,664**	+308	+3.7%
住宅ローン	6,761	7,496	**7,744**	+248	+3.3%
その他	721	859	**920** *1	+60	+7.1%
自己資本比率（国内基準） *2	10.65%	11.58%	**11.29%**	▲0.29pt	
Tier1　比率	10.22%	9.63%	**9.36%**	▲0.27pt	

＜主な増減要因＞

◆ 円預金残高は、夏のボーナスシーズン特別企画効果により増加。

◆ 外貨預金残高は、円高進行による円換算の影響（▲181億円）もあり、微減。

◆ 投資信託の残高は、基準価額下落の影響により減少。

◆ 貸出金残高は、住宅ローン残高の伸びに加え、シンジケート・ローンを中心とした法人融資残高の増加により、増加。

*1　うち849億円は法人向け
*2　25ページの自己資本比率（国内基準）の推移ご参照

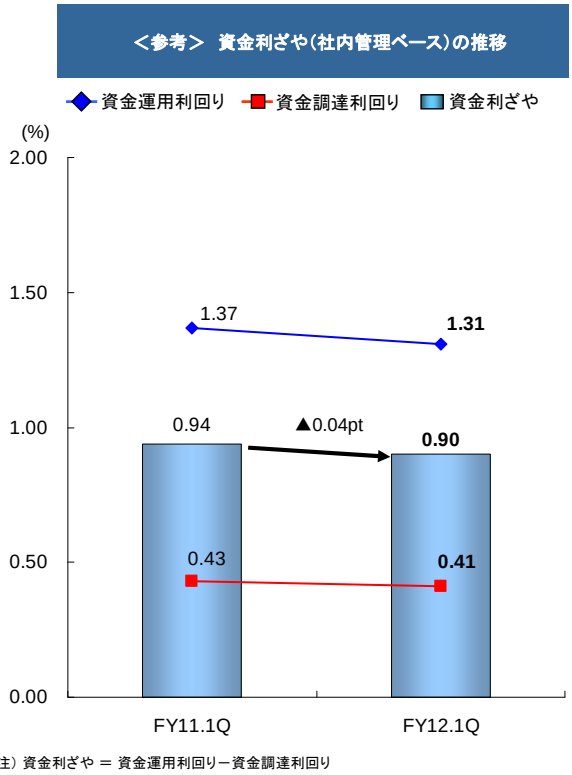
※金額は億円未満切捨て、増減率は四捨五入で表示

ソニー銀行　主要業績指標(単体)②

Sony Financial Holdings

＜参考＞ 社内管理ベース

（億円）	FY11.1Q	FY12.1Q	前年同期比	
業務粗利益	45	**44**	▲0	▲1.7%
資金収支[*1] ①	41	**42**	0	2.4%
手数料等収支[*2] ②	3	**1**	▲1	▲35.5%
その他収支[*3]	0	**0**	▲0	―
コアベース業務粗利益 （A）＝①＋②	44	**43**	▲0	▲0.3%
営業経費等 ③	33	**35**	+1	+5.2%
コアベース業務純益 ＝（A）－③	10	**8**	▲1	▲17.2%



（注）資金利ざや ＝ 資金運用利回り－資金調達利回り

■ **社内管理ベース**

損益の実態をより適切に表すよう、財務会計ベースに以下の調整を加えたもの

*1 資金収支 … 資金運用収支＋その他業務収支に計上されている実質的な資金運用にかかる損益（為替スワップ収益等）

*2 手数料等収支 … 役務取引等収支＋その他業務収支に計上されているお客さまとの外貨売買取引にかかる収益

*3 その他収支 … その他業務収支から *1 と *2 の調整分を控除したもの
主な内容は債券関係損益およびデリバティブ関連損益

■ **コアベース**

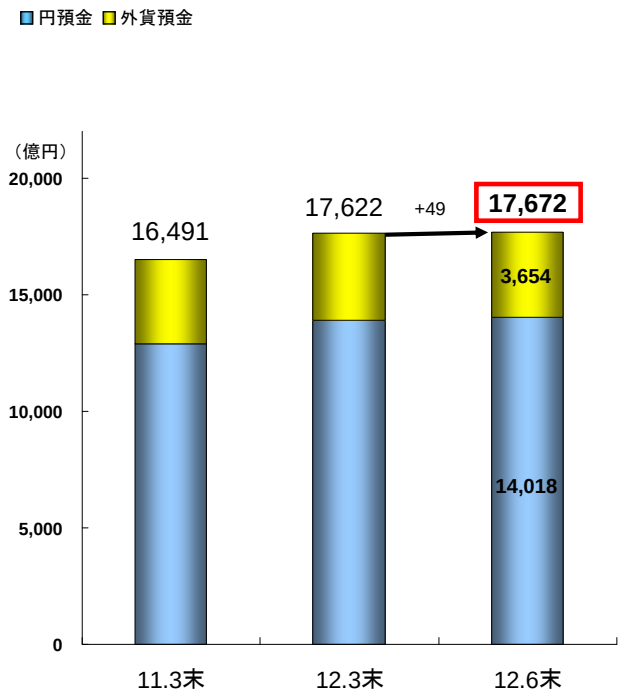
社内管理ベースの その他収支（主な内容は債券関係損益およびデリバティブ関連損益）を除いたもので、ソニー銀行の基礎的な収益を表すもの

※金額は億円未満切捨て、増減率は四捨五入で表示
※当期より、社内管理ベースの算出方法を一部変更しました。そのため、FY11.1Qにつきましても、当期と同様の算出を行った場合の金額を記載しています。

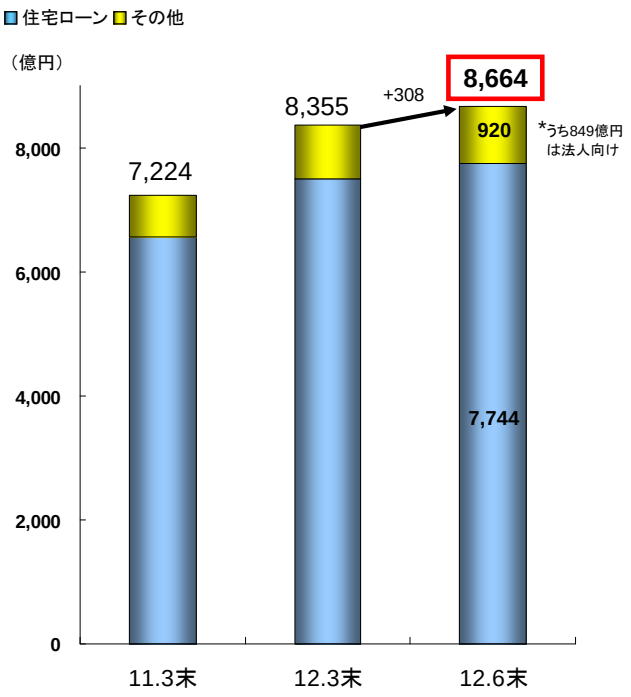
ソニー銀行の業績(単体)(1)

Sony Financial Holdings

預金残高



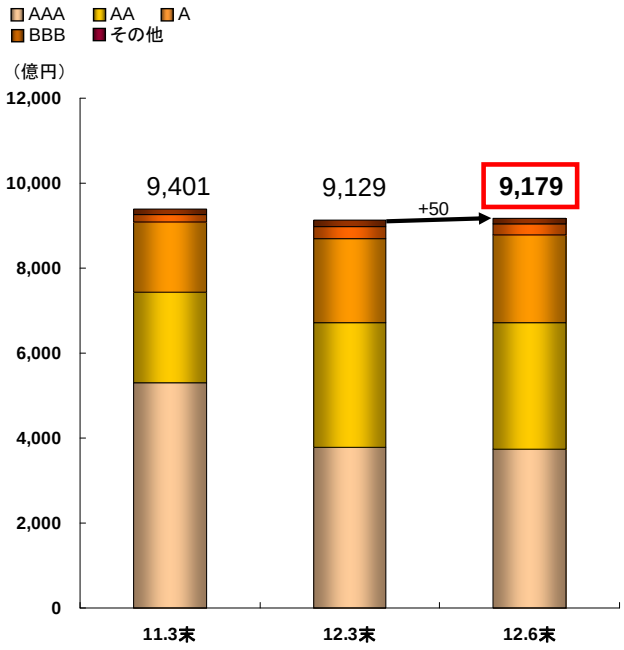
貸出金残高



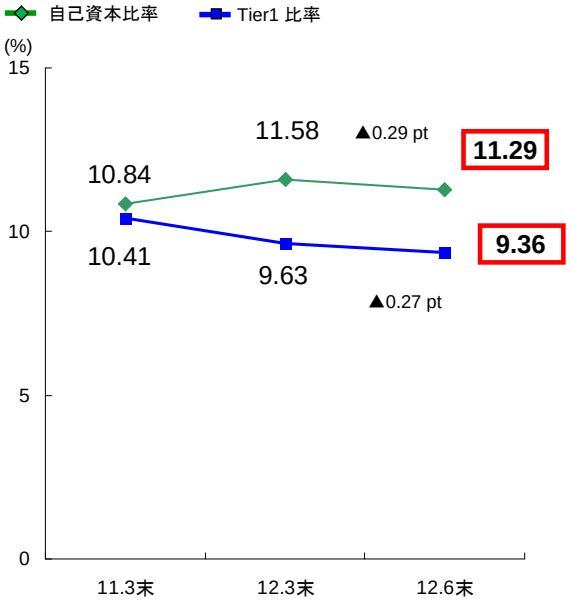
※金額は億円未満切捨てで表示

ソニー銀行の業績（単体）（2）

格付別の有価証券残高の推移



自己資本比率（国内基準）の推移



（注）平成18年（2006年）金融庁告示第19号「銀行法第14条の2の規定に基づき、銀行がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準」に基づき算出している。

※金額は億円未満切捨てで表示

Sony Financial Holdings

2012年度 連結業績予想

2012年度連結業績予想

Sony Financial Holdings

■通期の連結業績予想値は、2012年5月10日に公表した数値から変更なし

（億円）	FY11（通期実績）	FY12（通期予想）	増減率
連結経常収益	10,780	**11,150**	+3.4%
うち生命保険事業	9,675	**9,945**	+2.8%
うち損害保険事業	800	**868**	+8.4%
うち銀行事業	325	**345**	+6.0%
連結経常利益	746	**670**	▲10.2%
うち生命保険事業	681	**615**	▲9.8%
うち損害保険事業	28	**26**	▲9.1%
うち銀行事業	34	**36**	+3.9%
連結当期純利益	328	**370**	+12.8%

注） 当社グループの長期的視点にたった事業の特性に鑑み、2012年度より第2四半期累計期間の業績予想の記載を省略しております。

■生命保険事業
経常収益は、2011年度末にかけて見られたほどの市況回復による収益増加は見込まないものの、
保有契約高の順調な伸びにより保険料等収入の増加を見込んでいることから、2011年度実績より増加を見込む。
経常利益は、2011年度において、東日本大震災にともなう保険金支払額が前年度末に支払備金で想定した金額より少なかったことによる利益の計上や、
保有債券の入替えにともなう有価証券売却益があったのに対し、2012年度においては、こうした利益要因を織り込んでいないことから、減少を見込む。

■損害保険事業
経常収益は、自動車保険を中心とした正味収入保険料の堅調な増加を見込んでいることから、2011年度実績より増加を見込む。
経常利益は、損害率が引き続き高い水準で推移することが想定され、また、システム関連費用等により事業費率が若干上昇すると見込まれることなどから、微減を見込む。

■銀行事業
経常収益は、住宅ローンを中心に引き続き貸出資産が拡大することなどから、2011年度実績より増加を見込む。
経常利益は、業容拡大にともない業務粗利益が増加すると見込んでいることから、増加を見込む。

（注）金額は億円未満切捨て、増減率は四捨五入で表示。

Sony Financial Holdings

ソニー生命の2012年6月末MCEV および経済価値ベースのリスク量

ソニー生命の2012年6月末MCEV および経済価値ベースのリスク量

Sony Financial Holdings

（億円）	12.3末（国債レート）	**12.6末（国債レート）**	**増減**
MCEV	10,415	**10,545**	+129
修正純資産	4,092	**4,323**	+231
保有契約価値	6,324	**6,222**	▲102

(1) 2012年6月末の保有契約をベースとして、解約・失効率と経済前提をアップデート。
(2) 2012年6月末の計算は、一部簡易な計算を実施。

（主な増減理由）

◆ 保有契約価値は、新契約価値の積み上がりなどがあったものの、超長期金利の低下などによる減少効果により、約102億円減少。修正純資産は、株主配当の支払いがあったものの、ALM目的で保有する超長期国債の価格の上昇による増加効果により、約231億円増加。この結果、MCEVは増加。

※ 本計算の妥当性については第三者の検証を受けていないことに十分ご留意ください。

（億円）	12.3末	**12.6末**	**増減**
経済価値ベースのリスク量	5,515	**5,788**	+273

(注) 経済価値ベースのリスク量の測定においては、1年VaR99.5%水準とし、EUソルベンシーⅡ（QIS5）の標準モデルを参考にした内部モデルを採用。

参考情報

その他トピックス①

ソニーライフ・エイゴン生命の営業状況

営業開始： 2009年12月1日

資本金： 200億円（資本準備金100億円を含む）

株主： ソニー生命 50%、エイゴン・インターナショナルB.V. 50%

取扱商品： 変額個人年金保険（2種類4商品）

販売チャネル： ライフプランナー、および提携銀行（7社） 2012年8月13日現在

主要業績指標 (2012年度第1四半期)
新契約件数：1,075件、新契約高：74億円 (2012年6月末 ・・・ 保有契約件数：4,726件、保有契約高：368億円)

※金額は億円未満切捨てで表示

ソニー銀行における、ソニー生命による住宅ローンの取扱い状況

■ 2012年6月末の住宅ローン残高の25%
2012年度第1四半期の住宅ローン新規融資実行金額の27%
※銀行代理業務取扱い開始： 2008年1月

ソニー損保における、ソニー生命による自動車保険取扱い状況

■2012年度第1四半期の新規自動車保険契約件数の約5%
※自動車保険取扱い開始： 2001年5月

※「ライフプランナー」はソニー生命の登録商標です。

その他トピックス②

Sony Financial Holdings

＜2012年度以降の主な取組み＞

2012年5月16日	生保	ソニー生命、「共創プロジェクト」第1フェーズ リリース
2012年6月21日	生保	ソニー生命、公式Facebookページの開設
2012年7月23日	損保	ソニー損保、公式ウェブサイトのリニューアル/スマートフォン専用ページの新設
2012年7月27日	損保	ソニー損保、国内損保初! 安全運転、トラブル時のサポート、見積り・申込みのすべてをスマートフォンで実現
2012年8月1日	生保	ソニーライフ・エイゴン生命、変額個人年金保険「ウィズファミリー」を ソニー生命のライフプランナーを通じて販売開始
2012年8月1日	銀行	ソニー銀行、マネックスグループ株式会社との事業提携強化により金融商品仲介サービスの拡充を図ることを目的に、ソニーバンク証券株式を同社へ譲渡

ソニー生命の保有する有価証券の時価情報（一般勘定）

Sony Financial Holdings

有価証券の時価情報

売買目的有価証券を除く有価証券の時価情報のうち、時価のあるもの

（億円）

区　分	11.3末			12.3末			12.6末		
	帳簿価額	時価	差損益	帳簿価額	時価	差損益	帳簿価額	時価	差損益
満期保有目的の債券	29,143	28,921	▲ 221	34,048	35,606	1,558	35,330	37,092	1,762
その他有価証券	9,401	9,643	242	8,951	9,561	609	8,915	9,644	729
公社債	8,844	9,041	197	8,491	9,026	534	8,490	9,177	686
株式	498	537	38	291	349	58	247	275	28
外国証券	19	18	▲0	153	167	13	162	175	12
その他の証券	38	46	7	14	17	2	14	16	1
合　計	38,544	38,565	20	42,999	45,168	2,168	44,245	46,737	2,491

売買目的有価証券の評価損益

（億円）

11.3末		12.3末		12.6末	
BS計上額	PL評価損益	BS計上額	PL評価損益	BS計上額	PL評価損益
―	―	―	―	―	―

（注）上記の売買目的有価証券は、「金銭の信託」に含まれているものも含む。

※金額は億円未満切捨てで表示

ソニー生命の純資産（指標別）の明細

純資産（BS上）／実質資産負債差額／ソルベンシー・マージン

（億円）	①純資産（BS上）		②実質資産負債差額		③ソルベンシー・マージン		備考
	12.3末	12.6末	12.3末	12.6末	12.3末	12.6末	
株主資本合計	2,322	2,313	2,322	2,313	2,231	2,313	③社外流出予定額控除後
その他有価証券評価差額金	340	423	340	423	―	―	
その他有価証券の含み損益	―	―	―	―	546	654	③税引前の90%
土地再評価差額金	▲13	▲13	▲13	▲13	―	―	
価格変動準備金	―	―	253	269	253	269	
危険準備金	―	―	553	563	553	563	
一般貸倒引当金	―	―	―	―	0	0	
土地の含み損益	―	―	6	6	▲1	▲1	②税引前（再評価後） ③税引前（再評価前）の85% （マイナスの場合100%）
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	―	―	3,504	3,557	3,044	3,152	③不算入額控除後
配当準備金未割当部分	―	―	7	6	7	6	
税効果相当額	―	―	―	―	587	624	
満期保有債券の含み損益	―	―	1,558	1,762	―	―	②税引前
その他有価証券に係る繰延税金負債	―	―	183	221	―	―	
合計	2,648	2,722	8,714	9,108	7,221	7,581	

（注）「②実質資産負債差額」において、満期保有・責任準備金対応債券の含み損益を含まない場合の合計値は、12.3末：7,155億円、12.6末：7,346億円。

※金額は億円未満切捨てで表示

お問い合わせ先：
ソニーフィナンシャルホールディングス株式会社
広報・IR部
TEL：03-5785-1074